

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 14 日作成)

小委員会名	大振幅予測地震動に対する耐震設計法検討小委員会		主 査 名：壇 一男 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度：・地震荷重小委員会で提示された課題の整理 ・東北地方太平洋沖地震の地震動と建物被害の検討 2 年度：・南海トラフの三連動地震の地震動の試算と建物の応答解析 3 年度：・南海トラフの三連動地震の地震動の試算と建物の応答解析 ・荷重指針の構成の勉強会 4 年度：・上町断層地震に関する成果の指針化 ・南海トラフの三連動地震に関する成果の指針化		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：壇一男 (清水建設) 幹事：石原直 (建築研究所)、大西良広 (京都大学)、土肥博 (NTT ファシリティアーズ) 委員：麻里哲広 (北海道大学)、石井透 (清水建設)、上林宏敏 (京都大学)、岡野創 (小堀鐸二研究所)、北村春幸 (東京理科大学)、永野正行 (東京理科大学)、西澤崇雄 (日建設計)、林康裕 (京都大学)、司宏俊 (東京大学)、土方勝一郎 (芝浦工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	340,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『大振幅地震動と建築物の耐震性評価 - 巨大海溝型地震・内陸地震に備えて』
講習会	1. 講習会「大振幅地震動と建築物の耐震性評価 - 巨大海溝型地震・内陸地震に備えて」 参加者数：東京 206 名、大阪 84 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「地震荷重小委員会で提示された課題の整理」については、8 名の委員から話題提供を行った。 2. 「東北地方太平洋沖地震の地震動と建物被害の検討」については、審議の結果、東北地方太平洋沖地震では現状の設計用入力地震動を大きく超える大振幅地震動はなかったことから本小委員会での検討項目からはずした。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 特になし